〈令和８年度　インターンシップ参加学生へ質問〉

○自己紹介をお願いします。

長崎大学環境科学部 3 年の関岡慧樹です。出身は長崎県ではないですが、雲仙市を含む長崎の産業や自然に非常に興味があります。

○インターンシップのきっかけはなんですか？

将来は公務員、特に市役所職員として働きたいと考えており、大学の授業でインターンシップへの参加が必要なものがあったため、市として私が魅力的だと考えている雲仙市の市役所を選んだのがきっかけです。県庁などと違い、市民の方と直接かかわる機会が多いので、それを実際に体験してみたいというのも市役所を選んだ理由の一つです。

○インターンシップの内容はどのようなものでしたか？

主に各課で業務説明を受け、業務補助を行いました。また外勤に同行することも多くありました。それ以外にも様々な体験をさせていただきました。

1 日目	午前	オリエンテーション・市内視察
	午後	市内視察
2 日目	午前	農林課での業務体験
	午後	農林課での業務体験
3 日目	午前	千々石総合支所での業務体験
	午後	千々石総合支所での業務体験
4 日目	午前	防災安全課での業務体験
	午後	防災安全課での業務体験
5 日目	午前	インターンシップのホームページ作成
	午後	パブリックコネクトのブログ作成

○どのような体験をしましたか？

市役所での様々な業務を実際に体験したり、見学をさせていただいたりしました。農林課では市内の農地の現状と市が行っている支援策について実際に視察し、説明していただきました。視察の途中で、農業従事者の市民の方と親密なコミュニケーションをとられていたところがとても印象に残りました。千々石総合支所では、支所として多様な業務を行う大変さを感じることができました。防災安全課では、災害時の対応や防災無線の維持・管理について学びました。各支所との情報共有の場にも同行させていただき、本庁と支所で良い関係が構築されているところを実際に見させていただきました。

○インターンシップを通して学んだことはなんですか？

今回の５日間にわたるインターンシップを通して、市民生活のいたるところに市役所の支えがあって成り立っているということを実感することができました。普段なら知り得ないような市役所の業務内容も多く体験することができ、市民からの信頼で成り立っている市役所が普段通りに運営されていることがどれだけ凄いことなのかを初めて体感できました。

職員の皆さんがのびのびと、チームワークを発揮して業務を行われている姿を間近で見させてもらい、また皆さんの考えなどをたくさん伺うことができ、市役所職員という公務員として大切な心構えや姿勢を学ぶことができました。

今後は今回学んだことを忘れず、いずれ進路先でも活かしていきたいと思います。